

平成25年度

北星小学校だより



輝け北の星たち 特別号

平成25年12月発行

北星小学校再編に関する話し合い(平成25年11月13日(水))

地域や保護者の皆様には、日頃から北星小学校の今後のあり方について、何かとご心配をおかけして申し訳ありません。先日11月13日(水)午後7時から、北星小学校3階多目的ホールにおいて、関係者多数の参加のもと、北星小学校再編に関する話し合いを行いました。

市の教育委員会からは、子ども教育課の新野課長と渡辺学校教育課長ほか1名、北嶺振興会からは、松本会長さんほか役員の皆さん、北星小PTAからは、品川会長さんほか会員の皆さんがご出席し、今後のあり方について話し合いました。以下に、その内容を載せます。

1 話し合いの内容について

◇開会の挨拶

①<松本北嶺振興会長>今日の会合の開催意味について

今年の6月、北星小学校PTAとして来年度から東湊小に統合したいという申し出があった。北嶺振興会では、何度も会を重ねて話し合った。さらに、地域のアンケートも取った。その結果、来年度は時機尚早である。しかし、いつまでもとはいかないので、交流等を重ねてスムーズ編入ができたらいい。来年26年度は準備期間で、再来年27年度に編入という意見に固まった。今日は、市教委を交えていろいろ質問や忌憚のないご意見をいただきたい。

②<品川PTA会長>今後の協力について

地域の方の理解やPTAの臨時総会で承認を受けたので、再来年度の再編に向けて取り組んで行きたい。

◇協議内容

<新野課長>これまでの経過について

①小学校のあるべき教育環境

平成22年度に、中学校の統合問題、小学校の複式学級の解消。この提言を受けて、現在行っている。

②北星小学校の現状

平成24年度は、2・3年の複式学級で、放課後の補充学習もしている。平成26年度は、2・3年と4・5年の複式となるので、PTAとしては憂慮している。

③PTAの活動

平成25年2月にアンケートを取った。PTA総会での協議、地域との懇談、9月13日のPTA臨時総会での決議で、北嶺振興会との足並みがそろった。

④地域としての活動

北嶺振興会の地域アンケート実施。鵜浦町と市教委との独自の懇談では、今後の周囲の環境維持について、などを話し合った。

⑤市教委として

今後、東湊小との話し合いを持ちたい。皆さんの意志が統一しているから。市教委として責任を持って、東湊小との再編の話について進めて行きたい。

⑥中学校の統合のときのように

準備委員会(北星小と東湊小との代表)の設置が、第2ステップとして必要。学校設置条例の改正(通学地域の変更)、交流授業(事前に学びあうため)を行うための予算要求など。

地域がまとまっていれば、市教委はその思いをしっかり受け止める。

《質疑応答》

<岩崎さん>

来年度は、複式が増えるが何とかならんか？例えば、有磯小の1年生と北星小の1年生が週に2～3日交流すれば解消できるのではないかと投げかけてくれればいい。来年度の複式について、何かいい方法はないか？

<山崎三室町会長>

何人かの方が複式について、どうのこうの言っているが、今さら仕方がないことなのだから、平成27年度からの動向について、話し合ったらどうか。それについての意見を聞いていくことが、今日の話が進むと思うから。

<松本会長>

先生方は、大変忙しい中頑張っているのですが、もう一人どうにかならんかという声が出ている。できれば、市としてそのあたりの配慮をしてほしい。また、地域に話が進んでいるのに、市教委の中に話が進んでいないのは、なぜかという意見もある。PTAはPTAとして、振興会は振興会として動くつもりである。

<新野課長の返答>

アンケートに、「市教委として前に進むべき」という声があるが、この会合で話し合いを主導していきたい。

<中尾さん>

バスの運用について。中学校、小学校と一緒にバスを運用するのか。また、地域の行事にバスを利用させてほしい。臨機応変に対応を。

<新野課長の返答>

バスについては、国が財源として払う。地域の皆さんとの話し合いで、バスの運行は決まる。地域の行事については、学校行事とは別のもととして予算を立てていく。

<小川さん>

交流するための予算とかは、どうなっているのか？

<新野課長の返答>

来年度の予算編成、交流事業の予算、準備委員会の予算など、予算を計上するためには、北星小と東湊小の準備委員会として、早い時期に組織を立ち上げないと計上ができない。今日のこの会議で、総意として決まって要望が出されれば、できれば書面として受け取れば、その時点で動き出すことができる。

<以下、多数の意見が出たが、省略>

2 その後

12月13日(金)午後に、北嶺振興会とPTAの合同の要望書を市に提出して、その回答を得る予定。これにより、市教委も正式に再編に向けて、動き出すと思われる。

3 平成26年度の本校の児童数と学級数(予定)

(1)平成26年度 → 5クラス(複式学級 2)

- ・2・3年生及び4・5年生は、複式学級
- ・特別支援学級(3年生1人在籍)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級 なかよし学級	合計
児童数	4人	6人	6人	3人	12人	11人	1人	43人
学級数	1	1		1		1	1	5

※今後このような複式学級が、ずっと続いて行く。